

図 書 室

西川 菜穂

2023 年も前年の円安傾向をそのまま引き継ぎ、外国雑誌や海外の電子コンテンツの値上がりに歯止めが利かない状況であった。特に海外の電子ジャーナルの高騰は著しく、新規導入の要望に応えるために、契約中の雑誌を中止せざるを得ない本末転倒な状況が続いている。

医療情報の電子化が進み、オンラインでどこからでも情報が入手しやすい環境になるにつれ、図書室内に保管されている紙資料の利用件数は右肩下がりに減少傾向である一方、図書室内のパソコン、プリンター、統計ソフト（SPSS）、閲覧テーブル等の利用は増加している。

今後の課題は、コストが許す限りの電子資料の導入とその活用方法の啓蒙、そして単なる物理的資料の収集場所ではなく、「場としての図書室“the library as place”」の在り方の模索である。

人 事

4 月 30 日 澁谷真也 退職

年間利用件数

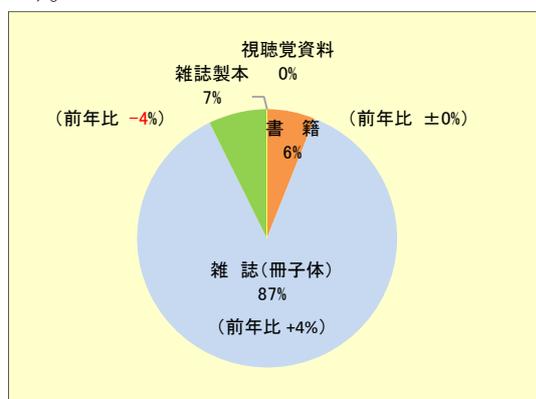
2023 年度の年間利用件数は 1,104 件で、約 1 か月半の担当者休職（図書業務休止）があった昨年と比べると若干増加した（前年比 +54 件）。

資料別の利用比率は、例年通り雑誌（製本含む）の利用が全体の 94%（冊子体 87%+雑誌製本 7%）と大半を占めている（グラフ 1）。

全文データベースの施設導入や、無料閲覧可能なオープンアクセス文献の増加により、図書室内の紙資料の利用は年々減少傾向にある（グラフ 2）。

資料種別	貸出	複写	合計	前年比
書籍	64	2	66	+5
雑誌	895	63	958	+89
雑誌製本	0	80	80	-40
視聴覚資料	0	—	0	±0
合計	959	145	1,104	+54
前年比	+93	-39	+54	

表 1. 年間利用件数（資料別）



グラフ 1. 資料別利用比率



グラフ 2. 年間利用件数の推移（過去 10 年間：2014 年～2023 年）

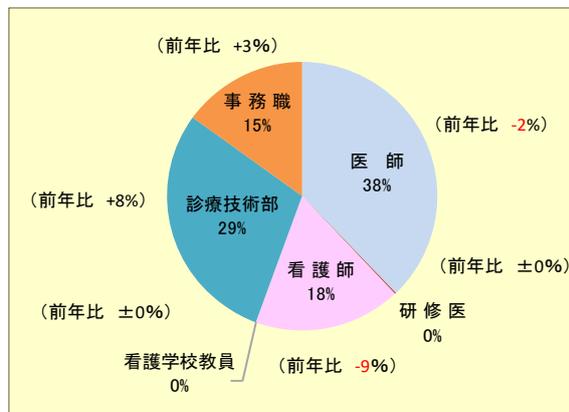
年間利用者数

2023年度の年間利用者数は1,666名で、前年より354名増加した。

職種別比率は、看護師が減少し、診療技術部の割合が大幅に増加した（グラフ3）。診療技術部内では、栄養士、薬剤師の割合が大幅に増加したが（グラフ4）、図書の利用自体少なく、ほとんどがパソコン、統計ソフト（SPSS）、閲覧テーブルの利用であった。

職種	院内	院外	合計	前年比
医師	558	72	630	+105
研修医	3	0	3	±0
看護師	271	22	293	-41
看護学校教員	0	0	0	-2
診療技術部	486	4	490	+201
事務職	247	3	250	+91
合計	1,565	101	1,666	+354
前年比	+389	-35	+354	

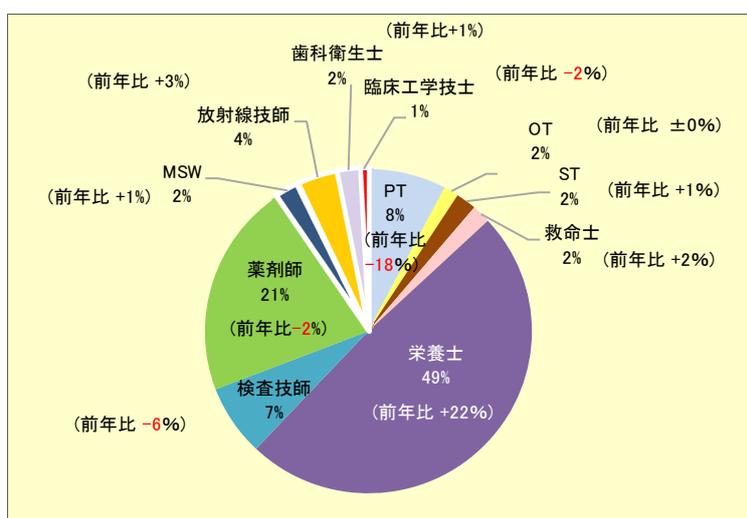
表2. 年間利用者数（職種別）



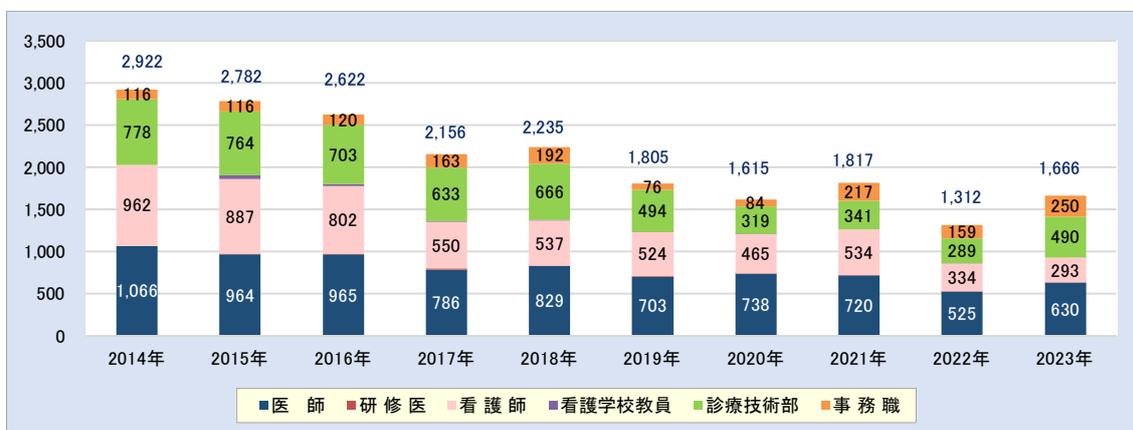
グラフ3. 職種別利用率

職種	合計	前年比
P T	38	-38
O T	7	+1
S T	10	+8
救命士	9	+9
栄養士	240	+163
検査技師	35	-3
薬剤師	105	+38
MSW	11	+7
心理士	1	-5
放射線技師	19	+16
歯科衛生士	3	+8
臨床工学技士	7	-3
合計	289	+201

表3. 年間利用者数（職種別：診療技術部内）



グラフ4. 職種別利用率（診療技術部内）



グラフ5. 年間利用者数の推移（過去10年間：2014年～2023年）

電子コンテンツの利用状況

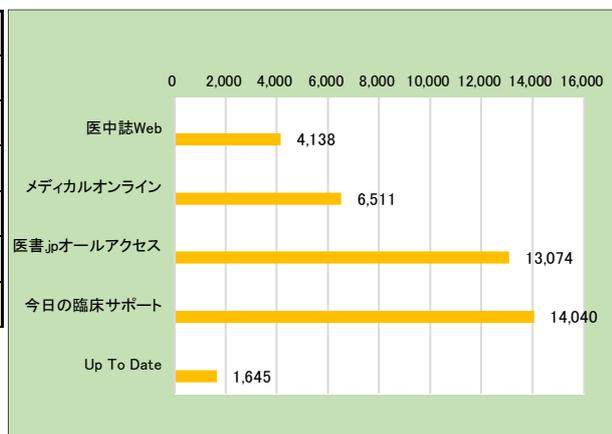
医学書院をはじめとした国内主要医学出版社 18 社 113 誌の電子ジャーナルが 1 つのプラットフォームで閲覧できる「医書.jp オールアクセス」の利便性は高く、年間利用件数が右肩上がりに増加している（前年比+2,896 件）。

日本語の医療系リファレンスデータベース「今日の臨床サポート」も、電子カルテからの利用が伸び、年間利用件数は右肩上がりに増加傾向である（前年比+4,447 件）。

紙資料に比べ、電子資料の利用件数は順調に伸びている。

コンテンツ名	利用件数	前年比
医中誌 Web	4,138	-94
メディカルオンライン	6,511	+137
医書.jp オールアクセス	13,074	+2,896
今日の臨床サポート	14,040	+4,447
Up To Date	1,645	+1,307
合計	31,073	+8,693

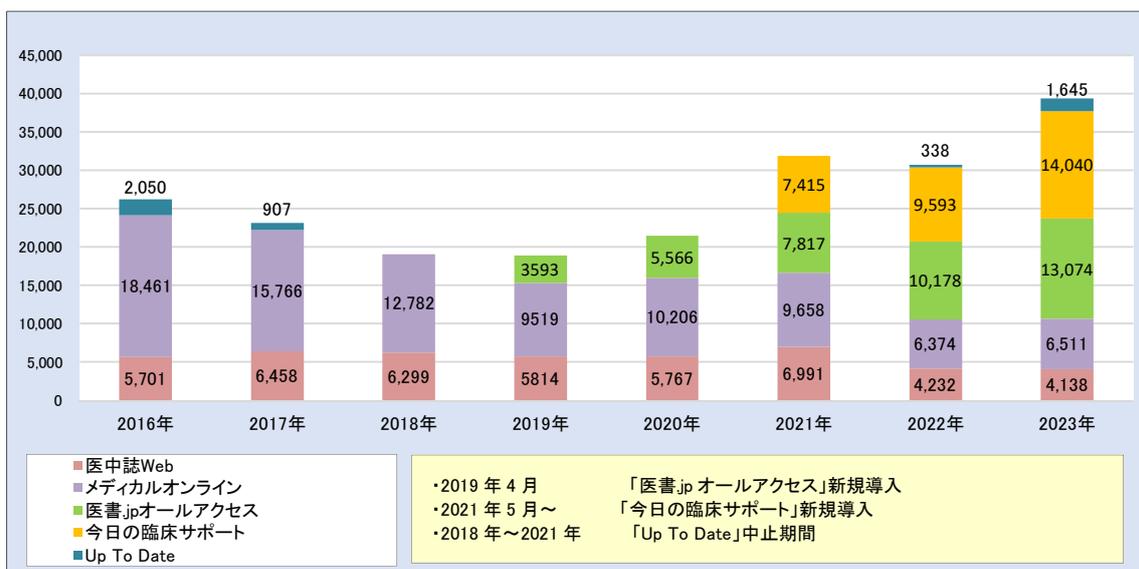
表 4. 年間利用件数（電子コンテンツ別）



グラフ 6. 年間利用件数（電子コンテンツ別）

コンテンツ名	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
医中誌 Web	5,701	6,458	6,299	5,814	5,767	6,991	4,232	4,138
メディカルオンライン	18,461	15,766	12,782	9,519	10,206	9,658	6,374	6,511
医書.jp オールアクセス	—	—	—	3,593	5,566	7,817	10,178	13,074
今日の臨床サポート	—	—	—	—	—	7,415	9,593	14,040
Up To Date	2,050	907	—	—	—	—	338	1,645

表 5. 年間利用件数の推移（電子コンテンツ別：2016 年～2023 年）



グラフ 7. 年間利用件数の推移（電子コンテンツ別：2016 年～2023 年）

図書間文献相互貸借件数

他院から当院への年間複写依頼件数は、319件(2021)→201件(2022)→148件(2023)と右肩下がりに減少。当院から他院への年間複写依頼件数も、324件(2021)→229件(2022)→192件(2023)と右肩下がりに減少している(グラフ8)。

文献の電子化が進み、オンラインで無料入手可能な文献が増えたことが外注減少の要因と思われる。

2017年にコスト削減のため購読タイトルを大幅に減らしてからは、院外へ複写を依頼する件数の方が、院外から複写を依頼される件数より多い状況が続いている。

年	複写受付 (貸)	複写依頼 (借)
2014年	638	696
2015年	672	663
2016年	571	458
2017年	432	427
2018年	337	500
2019年	219	356
2020年	293	355
2021年	319	324
2022年	201	229
2023年	148	192

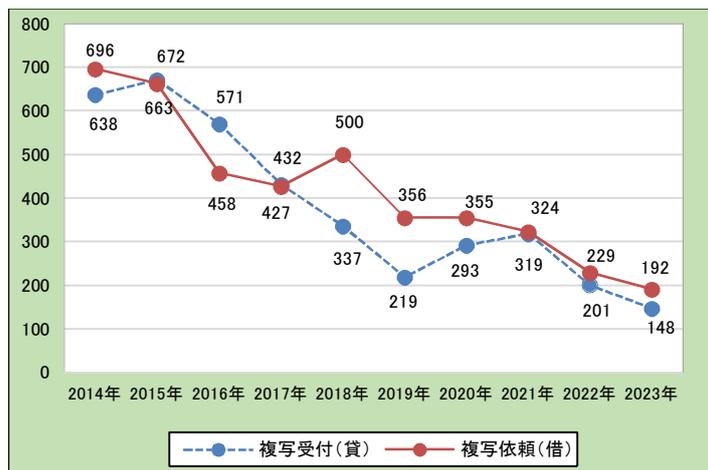


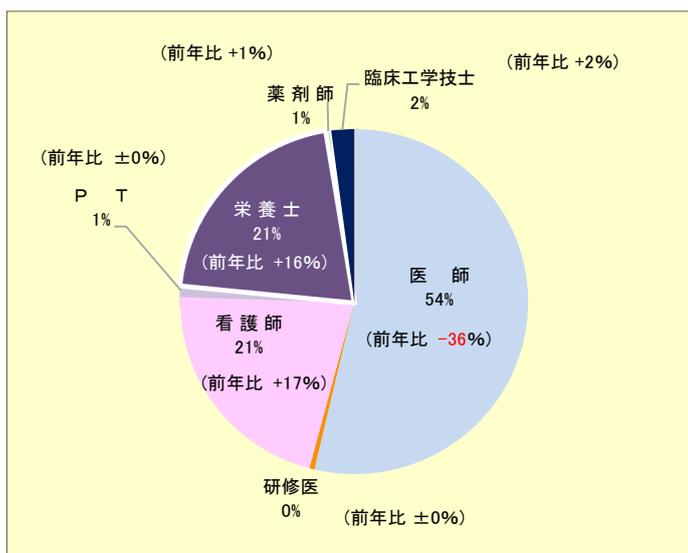
表6及びグラフ8. 文献相互貸借件数の推移(過去10年間:2014年～2023年)

文献取寄せ(外注)依頼件数

文献の取寄せ依頼件数は192件(前年比-37件)に減少し、特に医師からの依頼が減少した。依頼者数は前年とほぼ変わらないにも関わらず、依頼件数が大幅に減少していることから、1人当たりの依頼件数が大幅に減少傾向であることがわかる。

看護師の依頼件数の増加については、1人が文献をまとめて40件依頼したことが要因となっており、看護師全体の依頼件数が増加傾向にある訳ではない。

職種	件数	前年比
医師	103	-103
研修医	1	±0
看護師	41	+33
看護学校教員	0	±0
P T	2	±0
O T	0	±0
S T	0	±0
臨床検査技師	0	±0
栄養士	40	+28
薬剤師	1	+1
放射線技師	0	±0
臨床工学技士	4	+4
事務職	0	±0
OB(院外)	0	±0
合計	192	-37



グラフ9. 職種別文献取寄せ依頼比率

表7. 職種別文献取寄せ依頼件数